

HEAD LINE 2

特別
対談

がむしゃらに、ベストを尽くす！

昨年度、3月に行われた全国高校ウエイトリフティング競技選抜大会で見事優勝。

本年度、インターハイ予選、関東大会でも優勝し、

インターハイでの優勝も期待されている村田君と校長との対談の様子をお伝えします。



ウエイトリフティング部
村田 優希



校長
向山 豊隆

校長… ウエイトリフティングをやろうと思ったきっかけは？

村田… 中学生の時に声をかけていただき、体験入学で実際にやってみたところ、とても奥が深い競技だと思い、やってみようと思いました。

校長… 昨年度末の全国選抜大会で表彰台に上がったときの気持ちは？

村田… 自己ベストではありました、6本中3本しか成功できず、悔しい気持ちのほうが強かったです。

校長… 全国優勝してから、注目されるようになったけど、気持ちの変化はある？

村田… 取り上げていただく場面は増えましたが、左右されず、ただ記録を伸ばすことだけを考えています。

校長… スナッチとジャークとではどちらが得意？

村田… 以前は波がありましたが、今はどちらも得意です。それでも、調子が悪いときは、力であげようとして軌道が悪くなってしまいますが、フォームを見返し、修正しています。

校長… インターハイでの目標は？

村田… 優勝です。トータル280kgを目指しています。

校長… 部長として心がけていることは？

村田… 個性の強い部員が多いので、一人一人に合ったアドバイスをするようにしています。

校長… 村田君がいることで、生徒によい影響を与えています。

ぜひ、優勝目指して頑張ってください。

村田君は8月下旬に開催される、
日・韓・中ジュニア交流競技大会の
日本代表選手としての出場も
決まりました。



山梨県高校総体



山梨県選手団の旗手を務めました

EZ TOPICS 1 最後の大会へ

やりきった 全国女子大会

ウエイトリフティング部／三枝 万利衣



最初で最後の インターハイ

弓道部／雨宮 淳



7月14日～16日に行われた全国女子ウエイトリフティング競技大会に出場しました。昨年、この大会で記録なしという結果に終わってしまってから、今年のこの大会のために毎日練習してきました。

しかし、腰のケガから思うように練習できない時期もあり、記録も伸び悩んでいました。試合当日、緊張せずにアップに入り、上がりの重量で2回失敗しましたが、スナッチを3回成功して66kg、クリーン＆ジャークは80kgを目指していましたが立ち上がりがれず、76kgに終わり、トータル142kgでした。昨年の記録なしという結果から、5本取りすることができ、最後の大会でやりきることができました。

EZ TOPICS 2 皆で作り上げた青春の一ページ



多くを学んだ苦嶺祭

学園祭実行委員長／星野 芽衣



大きな達成感が得られた

生徒会長／三枝 あゆみ

3年生最後の学園祭。一週間という短い準備期間の中で、看板を作ったり、汗だくになってダンスの練習をしたり、多くの思い出をつくることができました。そして、苦嶺祭当日、どのクラスも一丸となって、発表や名店街に取り組むことができ、実行委員としても嬉しく思いました。苦嶺祭を終え、私たちちは多くのことを学びました。友だちと衝突したり、暑さから練習が嫌になってしまったこともあったかもしれません。しかし、一人一人の努力でそれを乗り越え、素晴らしい思い出になったと思います。この思い出を胸に、これから

の学校生活や進路実現に向けて、全力で過ごしていきたいと思います。

第61回苦嶺祭が終了しました。皆さんお疲れ様でした。生徒会役員は、皆さんより楽しめる学園祭と出来るよう、昨年から準備を重ねて来ました。今年は準備期間が一週間と短かったため、何かとトラブルが起きて大変なこともあったことでしょう。しかし、皆さんのが学園祭準備や本番を楽しんでいる様子はとても輝いており、非常に素晴らしかったと思います。準備期間から本番まで通して、多くの先生方や生徒の方から「頑張ってね」「お疲れ様」「ありがとう」といった暖かい言葉をかけて頂き、数多くの場面で支えられ、またとても大きな達成感を味わう事が出来ました。皆さんのがしてくれたからこそ、学園祭を無事に終わる事が出来たと思います。



クラス発表



名店街



茶道部のお茶会